



ハツカリタイムズ

2023 December No,01



生まれ育った 埼玉の未来を拓く 初 雁 興 業

佐藤 翔太 入社1年目
建築部 施工管理スタッフ

説明会で衝撃！
それが
決断の時。



たくさん建築関係の会社を見ていく中で初雁興業に入社したい！と思ったのは、説明会で施工実績を紹介してもらったことに1番の大きな理由があるんです。自分の知っている建物などで、地域に根差した実績がたくさんあることに純粋に凄いなと思いました。特に、川越で育った自分にとって慣れ親しんできた川越駅をガラッと様変わりする工事をしたのが初雁興業だと知った時は衝撃が走りました。そして、説明会でも面接でも、会社の事を正直に包み隠さず話してくれ、雰囲気も良く、リラックスして自分らしく面接に挑むことができたのも良かったです。埼玉県にお住まいの方や学生時代を過ごした方等は、あの建物も初雁興業が施工したんだ！と、初雁興業を身近に感じていただけるかもしれませんね。

大切にしている教え。
それは
「疑問をみつける事」



無事、初雁興業に入社でき、1年目の今は現場で写真を撮ったり、パソコンで写真を整理したりしながら、日々勉強中です。大学時代の座学は苦手で、頭に入っていることは少ないんですが…あ、これ学校でやったな！とか思い出したりして、「大学に行って良かった」「この道に進んで良かったな」と実感しています。仕事をする上で大切にしていることは、入社前のインターンでお世話になった先輩に言われた「現場に行ったら、疑問を1つでも見つける事」です。「分からない事があったら聞いてね」と言われるよりも、「疑問を1つでも見つけてくる事」と言われたことで、聞きやすくする環境を作り、成長の機会を与えてくれました。なんで？どうして？と、興味関心を持って、1つずつクリアにして、身に付けていくように心がけています。まずは、今の仕事をもっと効率よくできるように努力し、仕事の幅を広げていきたいと思っています。そして、一級建築施工管理技士の資格を取得し、入社のきっかけとなった大きな建物とまではいかなくても、自分がリーダーとして着工から完成まで仕切れる現場を持つことが目標です。



休みの日の僕

野球観戦したり、温泉に行ったり、サウナに行ったりして、プライベートも充実しています。



お父さん、お母さんへのメッセージ

ここまで育ててきてくれてありがとう。
早く一人前になって安心させてあげたいと思っています！



創業から126年

地元埼玉に貢献し続ける初雁興業



川越ではよく見る「初雁」という言葉。

由縁は、この地に古くから伝わる「川越城七不思議」のひとつである「初雁の杉」からとられています。

平安時代に創建し、わらべ歌「とうりゃんせ」発祥の地といわれている三芳野神社の裏にはとても見事な杉の木が立っていたそうです。秋になり北の方から飛んできた初雁が、杉の上まで来ると、決まって「ガー」と三声鳴きながら、グルッと三度回り、南の方へ飛び去って行ったそうです。毎年同じ時期に見られるこの光景から、この杉は「初雁の杉」と呼ばれるようになりました。

その後、太田道真・道灌の親子が三芳野神社のある場所に「川越城」を築城し、築城祝いの宴の際にも、初雁の杉に初雁が飛来したことを見て、太田道灌が川越城を別名「初雁城」と命名したとされています。

我社は、関根組として1897年に創業。1947年には小江戸川越と呼ばれる下町にあり、「川越城」別名「初雁城」という由緒ある「初雁」の名前を頂き、関根組から初雁興業と社名を改め、多くの皆様に支えられて今日に至っております。

※『初雁』・・・その年初めて渡ってきた雁のこと。雁はカモ科の水鳥。川越市の市鳥に指定されている



「Instagram」「X」フォロー&いいね・リポスト よろしくお願いします。



初雁興業、各種SNS好評配信中です！

採用情報、スタッフインタビュー、研修の様子、初雁興業の取り組みなどを定期的に発信しています。

SNSを通して、弊社のことをたくさんの方に知っていただきたいと思います。

お気軽にフォロー&いいね・リポストをよろしくお願いします。



Instagram・Xは毎週 月・水・金曜 更新中！

編集後記

「ハツカリタイムズ」を最後までお読みいただきありがとうございます。

入社1年目のスタッフインタビューからは「学ぶ姿勢」に気持ちが引き締められました。

また、今回は創刊号と言うこともあり、初雁興業の社名の由来をお話させていただきました。

今後とも「ハツカリタイムズ」をよろしくお願いいたします。次号は春頃に発行の予定です。